

# 茂山千五郎家 狂言

出演

茂山千五郎 茂山あきら 茂山童司  
松本薫 井口竜也 山下守之

演目

清水 (しみず)  
濯ぎ川 (すすぎがわ)



清水 (しみず)

濯ぎ川 (すすぎがわ)

解説

茂山千五郎



お豆腐狂言

SHIGEYAMA OTOFU KYOGEN

茂山千五郎家



茂山千五郎家は、江戸初期から京都在住の狂言師の家として歴史に残っており、現在も十三代目の当主・千五郎を中心に全国各地で公演しています。また、茂山家狂言は、その親しみやすさ、味わい深さから「お豆腐狂言」と表現されています。



茂山 千五郎



茂山 あきら



茂山 童司



松本 薫



井口 竜也



山下 守之

## 演目解説

### 清水 (しみず)

主人は、お茶の会で使う水を野中の清水へ汲みに行くよう、太郎冠者に命じます。使いに行きたくない太郎冠者は、「清水に鬼が出た」と嘘をついて逃げて帰ってきます。主人は太郎冠者が置いてきた秘蔵の手桶を惜しがり、自ら清水に行って探してくると言い出します。困った太郎冠者は先回りをして、鬼の面をかぶって主人を脅します。あわてて逃げて帰った主人ですが、不思議なことが多いため、今一度探しに行くと言い出します。仕方なく太郎冠者はもう一度先回りをして脅すのですが…。

### 濯ぎ川 (すすぎがわ)

毎日、嫁と姑に追い使われる養子の男。この日も裏の川へ洗濯に行けと言いつけられます。まだろくろく時もたたぬうち、やれ蕎麦を打て、やれ水を汲めと次々に用事を言いつけられ、男は「用事を忘れぬよう、紙に書き付けてくれ」と言い出します。嫁と姑は、朝から晩までの用事のことを次々と文にしたため、男に渡します。男は文に書いて無いことはしなくてもよいと、約束をとりつけます。そしてほんの、ほんのささやかな反抗を試みますが…。

第302回 2018年  
旭川市民劇場  
4月例会

4月10日(火) 6:30  
11日(水) 1:30

上演 = 1時間30分  
時間 (含休憩15分)

会場 = 旭川市公会堂

演劇で笑ったり、泣いたり、怒ったり。楽しく、大切な時間を、私たちと一緒に過ごしませんか。

詳しくは旭川市民劇場まで

●入会金 2,000円  
●会費(月) 一般: 2,500円  
大学生: 1,000円  
中高生: 500円  
会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。  
住所: 旭川市3条通8丁目緑橋ビル1号館2F  
TEL: 23-1655

会員  
募集中

### 次の例会

6月例会 劇団NLTプロデュース  
『しあわせの雨傘 Potiche ~飾り傘~』  
出演: 賀来千香子、井上純一、永島歌行 ほか  
6月19日(火) 6:30  
20日(水) 1:30